



ハープで天使の音色を奏でる 台湾出身の音楽家

矢部リンメイさん(持田)

今月紹介する矢部リンメイさんは、台湾出身のハープ奏者。小学2年生のときからピアノを始め、いつしか「音楽家になりたい」という夢を抱くようになり、その夢を実現するために、小学生のときから音楽を専門に学べる高校・大学に入学することを目標に掲げ、練習に励んでいたそうです。

台湾では、2つ以上の楽器を演奏できなければ音楽科の学校に入学することができません。そのため、小学4年生から父親に勧められハープも練習するように。初めてハープを奏でたときのことを「まるで天使が降りてきたみたい」と感激したのを覚えています」と語ります。



自宅でのピアノの練習に加え、バスや電車に何時間も揺られながら遠方のハープ教室に通うといった日々を過ごした矢部さんは、その後めきめきと実力を付け、台湾台南芸術学院音楽科に入学しました。専攻する楽器はもちろんハープ。台湾でプロのハープ奏者になるために、朝から晩まで音楽漬けの日々を送っ

ていたそうです。そんな矢部さんの人生を決めるターニングポイントが訪れたのは、卒業を迎えるころのことでした。学校を通じて「軽井沢音楽祭」での演奏を依頼されたのです。「初めて日本で演奏したのですが、会場の雰囲気がとても温かくて、すぐにこの国のファンになりました。今私がここにいるのは、この経験があったからです」と日本でハープ奏者として活動していくことを決意したときのことを振り返ります。

家族の反対を押し切り、20歳のときに武蔵野音楽大学に入学。しかし、すぐに言葉の壁にぶつかってしまいます。「先生の話が全く分からない」それでも授業を録音したり、テレビで聞こえてくる単語を辞書で調べたりして、徐々に日本語を覚えていきました。授業の内容が理解できるようになると、ハープに対する世界観がさらに広がり、一歩ずつ音楽家への階段を上っていったのです。

卒業後、行田アンサンブル協会に所属した矢部さんは、現在、福祉施設などでの演奏を通して、ハープの魅力を伝えていきます。来年の3月28日には、産業文化会館でのスプリングコンサートも予定しているそうです。「私の演奏を聞いて感動してくれる方や、『また聞きたい』と言ってくれる方がいます。そんなとき私の決断は間違っていないんだと確信しますね」と笑顔で浮かべる矢部さん。ハープという楽器がもつ身近な存在になることを願って、これからも心に響き渡る天使の音色を奏でていくことと決まっています。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 俳句 | 荒木 国島 初江 | 富士見町 森原 育子 |
| 秩父路の札所めぐりや秋うらら | 持田 小倉 繁三 | 豊作やみるみる山となるお米 |
| 桜町 吉岡 守子 | 秋耕や石切る音の今は無く | 持田 小倉 繁三 |
| 新米のかおり茶わんに手をあわせ | 長野 野中せき子 | 秋耕や石切る音の今は無く |
| 天満 青柳 欣吾 | わらべらの声こだまする栗ひろい | 長野 野中せき子 |
| 柿不作一つ一つがいとおしく | 荒木 藤田 明枝 | 大根切る手の大きさは母ゆずり |
| 藤原町 上原ミサ子 | 門井町 嶋田 茂 | 秋風や辻の地蔵の道しるべ |
| 記念樹のみかん実りて孫の笑み | 持田 丸山 麟一 | 秋風や辻の地蔵の道しるべ |
| 荒木 藤田 栄之 | 持田 丸山 麟一 | 虫の声心に響く孤愁あり |
| 海に散る叔父の叫びか冬の雷 | 長野 吉野 らん | 秋高し真に迫りし甲冑隊 |
| 城南 関口 操 | 長野 吉野 らん | 秋高し真に迫りし甲冑隊 |
| 海まぶしみかんもまぶし車窓かな | 忍 飯島 素子 | 湖めぐり箱根の秋を惜しみけり |
| 今年米何より先に亡き夫へ | 谷郷 鶴崎 信行 | 評価など気にせぬごとく野菊咲く |
| 行く子らを遠く見送る木守柿 | 城西 鈴木 正夫 | 木犀のただよう庭で深呼吸 |
| LED感謝感謝の夜なべかな | 前谷 島田奈智子 | 秋あかね心なごます道案内 |
| 秋あかね心なごます道案内 | 前谷 島田奈智子 | 秋あかね心なごます道案内 |

はじめまして



平成26年2月生まれのお子さんを募集します

○12月1日(月)～26日(金)に電話またはEメールで
広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、1月5日(月)午後4時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成25年12月生まれのおともだち ★★★



長谷川 愛未ちゃん(谷郷)
平成25年12月26日生まれ
父・浩さん 母・加菜子さん
「我が家の
スーパーアイドル♡」



中村 夢琉ちゃん(緑町)
平成25年12月27日生まれ
父・宏男さん 母・絵里さん
「愛琉ちゃんと仲よし姉妹♡」



渡邊 諒平ちゃん(門井町)
平成25年12月11日生まれ
父・崇史さん 母・ひとみさん
「スクスク元気に育ってね!」



藤野 冬結ちゃん(藤原町)
平成25年12月12日生まれ
父・智哉さん 母・葉瑠さん
「のびのび元気に育ってね☆」



小川 陽向ちゃん(埼玉)
平成25年12月19日生まれ
父・博之さん 母・真季さん
「我が家の癒し系☆」



山本 瞭ちゃん(門井町)
平成25年12月13日生まれ
父・将史さん 母・有沙さん
「優しい女の子になつてね♪」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!!

株式会社ソメノ

健康で豊かな暮らしを支える5つ星お米マイスター



会社プロフィール

代表取締役 染野 光伸
【事業内容】米類販売

私たち日本人の主食といえば、お米。しかし、近年の日本では、食文化やライフスタイルの多様化に伴い米の消費量が減少しています。そんな中、地元のお米屋さんとして、米を中心とする食生活の重要性を伝え続けているのが株式会社ソメノです。

同社は、大正12年の創業以来、米の販売を通してお客さまの健康的な食生活のお手伝いをしています。店内には全国から厳選して取り寄せた米が所狭しと並んでいます。その中から、米の味の好みはもちろん、よく食べるお米との相性も考え、お勧めの米を紹介しているそうです。その功績が認められ、平成11年に県内で初めてとなる全国優良米穀店コンコールの全農会長賞を受賞しました。また、同社は米だけでなく食に関する豊富な知識を持つ「5つ星お米マイスター」がいる店として精力的な営業活動をしています。

「お客さまの健康を食生活の面からさらに応援していきたい」そんな思い

から、同社は、平成21年に「彩食玄美」というオリジナルの玄米(無洗米)を開発しました。この商品は、美容や健康に良いとされる玄米で、しかも炊飯の手間が少なくて済むことから、特にダイエットに興味のある若年層や健康志向の年配の方に大人気です。

さらに、同社では、新商品のお知らせや米に関する豆知識を掲載した手作りのリーフレット「こめ米ネット」を毎月1日に発行。このリーフレットは、10年以上継続して発行しており、「もっと食事を大事にしてほしい」という思いがこぼれ出ています。

「今後も、一人一人のお客さまに合ったアドバイスで、『ソメノさんのおかげで健康でいられる』と思ってもらえるような店作りをしていきたいです」と代表取締役の染野光伸さんは目を輝かして話します。その熱い気持ちは、消費者の心に伝わり、健康で豊かな暮らしを支えていくことと決まっています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。